

**平成 30 年度 「教員の個人業績評価結果」
に関する報告書**

令和2年2月

大学評価室

1. 教員の個人業績評価の実施結果 [2018 年度]

対象部局	在職教員数	評価除外者数	評価対象教員数	実施教員数	評価実施率
学部・大学院	530	104	426	398	93.4%
その他部局	246	61	185	131	70.8%
合計	776	165	611	529	86.6%

※在職教員数とは、当該年度3月31日現在の教員数を示す。

※評価除外者数とは、在籍期間が1年に満たない教員数（新規・中途採用、退職・転出等が明らかな教員）、部局等の長、テニュアトラック教員、特命教員及び寄附講座等教員、年俸制教員を示す。

※実施教員数とは、教員業績情報システムに登録されている教員のうち、評価が実施された教員数を示す。

※評価実施率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示。

2. 教員の個人業績評価の集計方法

教員業績情報システムに登録されている教員のうち、評価が実施された教員を示す「実施教員数」のデータを使用して、クロス集計及び傾向等の分析を行う。

対象とした部局は、表1のとおり。ただし、「2018年度の評価実施率が25%未満の部局」又は「評価対象教員数が5名未満の部局」については、評価結果を表示しないものとする。

表1 評価対象部局

対象部局	2018 年度
学部・大学院	地域学部 医学部 医学系研究科 工学部 農学部
その他部局	乾燥地研究センター 教育支援・国際交流推進機構 研究推進機構 総合メディア基盤センター 医学部附属病院

- 教員の自己評価及び評価者の評価結果とは、以下の区分及び判断基準を使用したものである（表2）。

表2 自己評価及び評価結果の判断基準

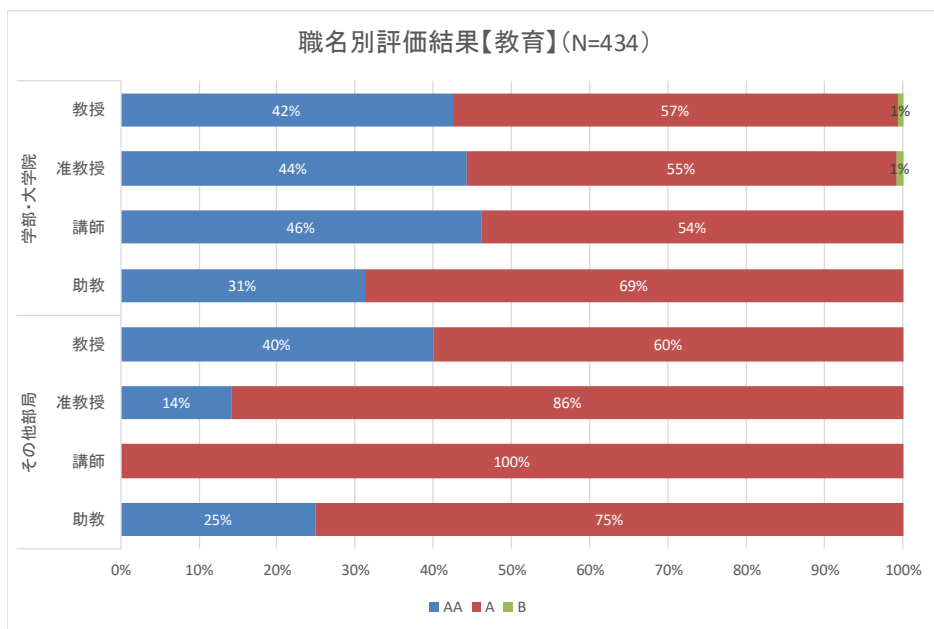
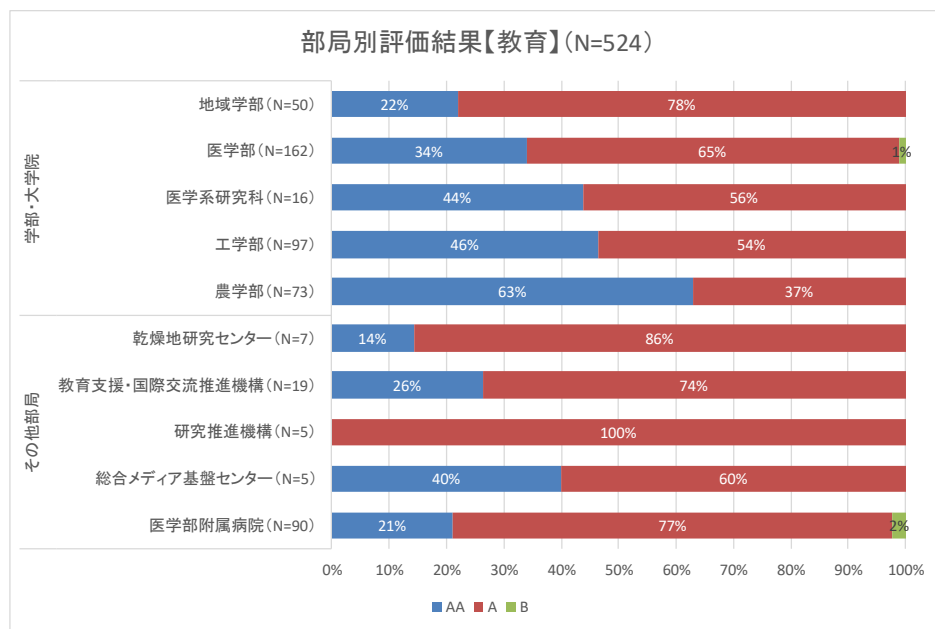
区分	判断基準
AA	活動実績について十分満足できる
A	活動実績について満足できる
B	活動実績について満足できない

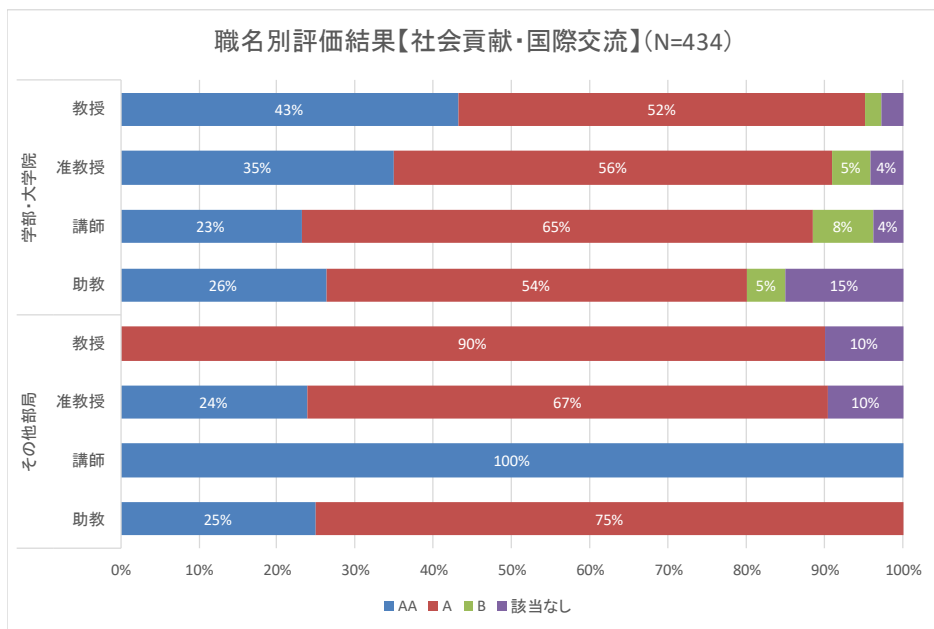
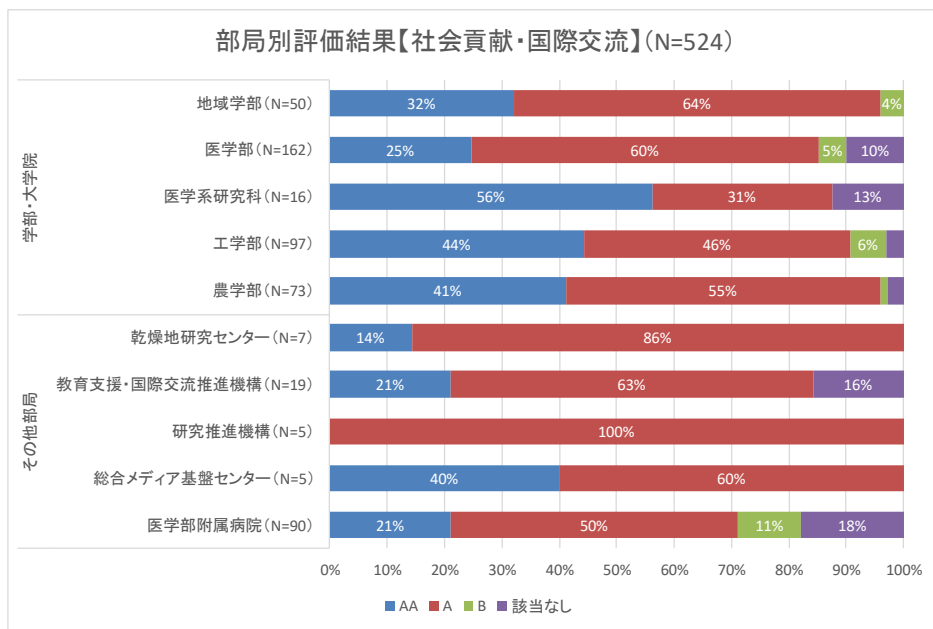
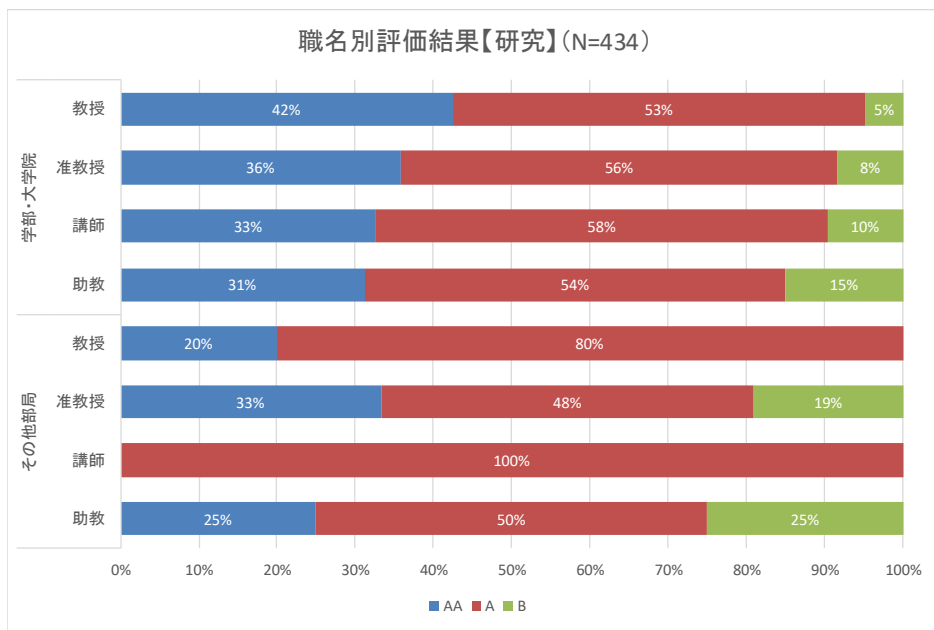
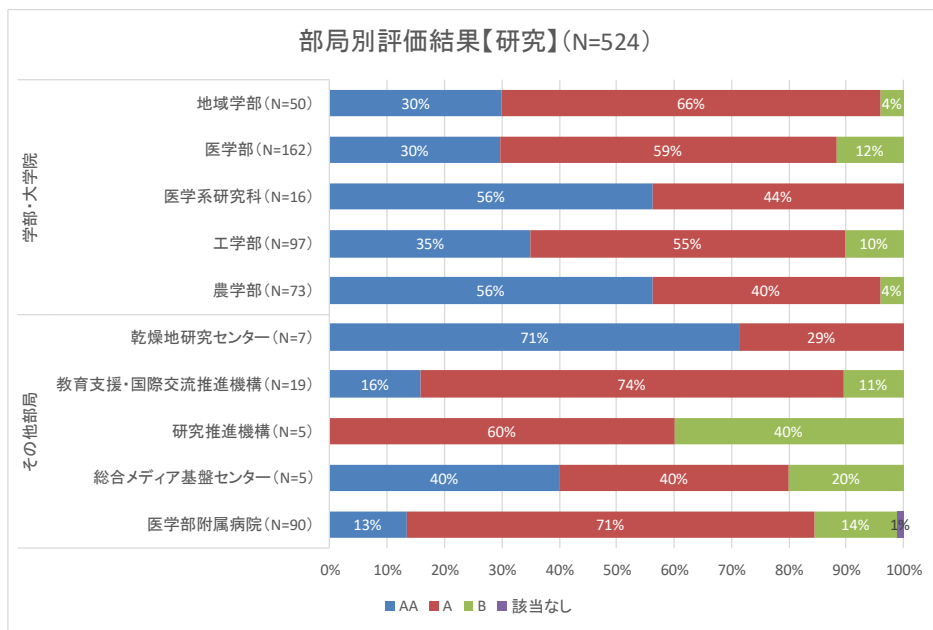
3. 評価者の評価結果 [2018 年度]

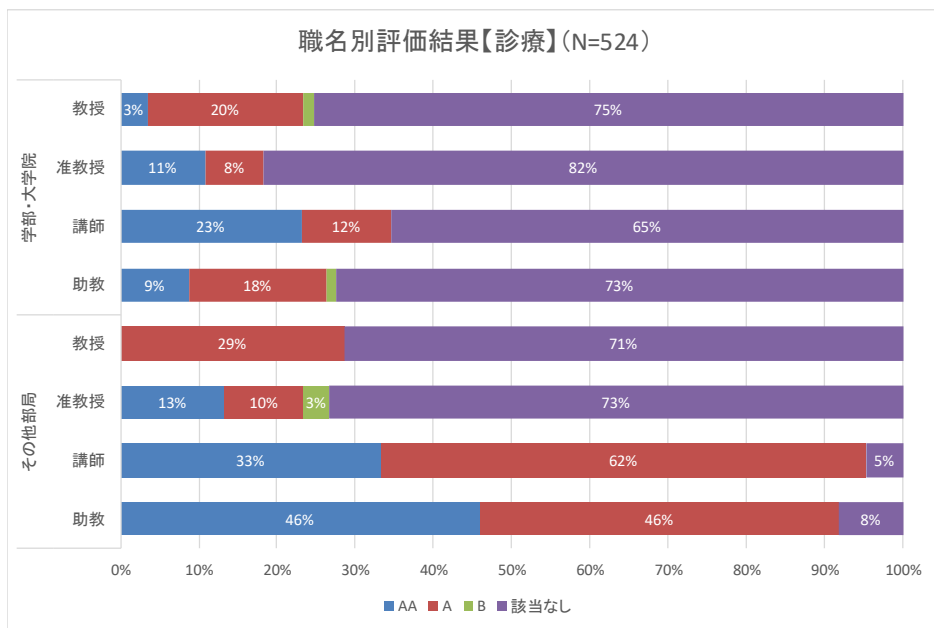
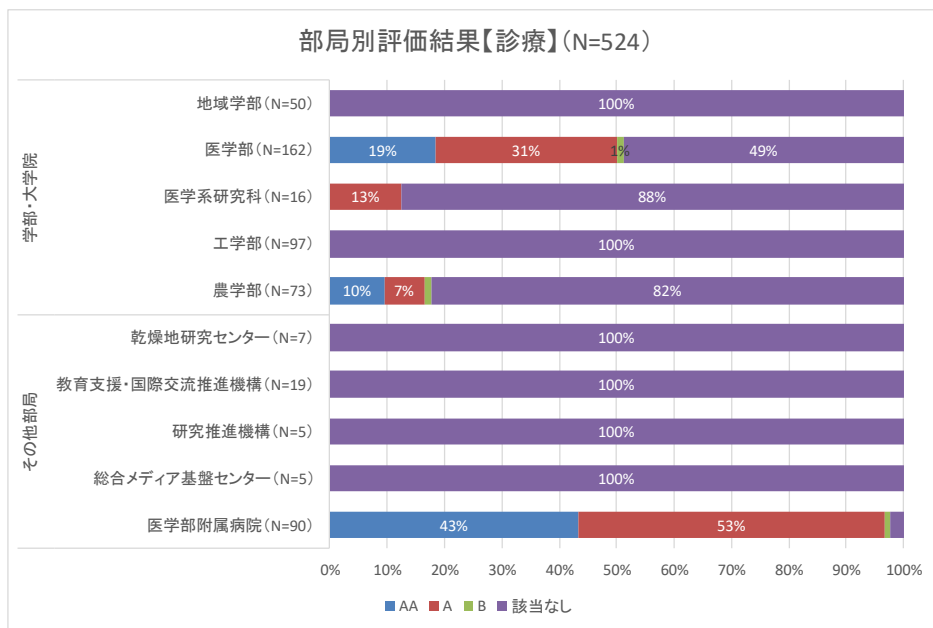
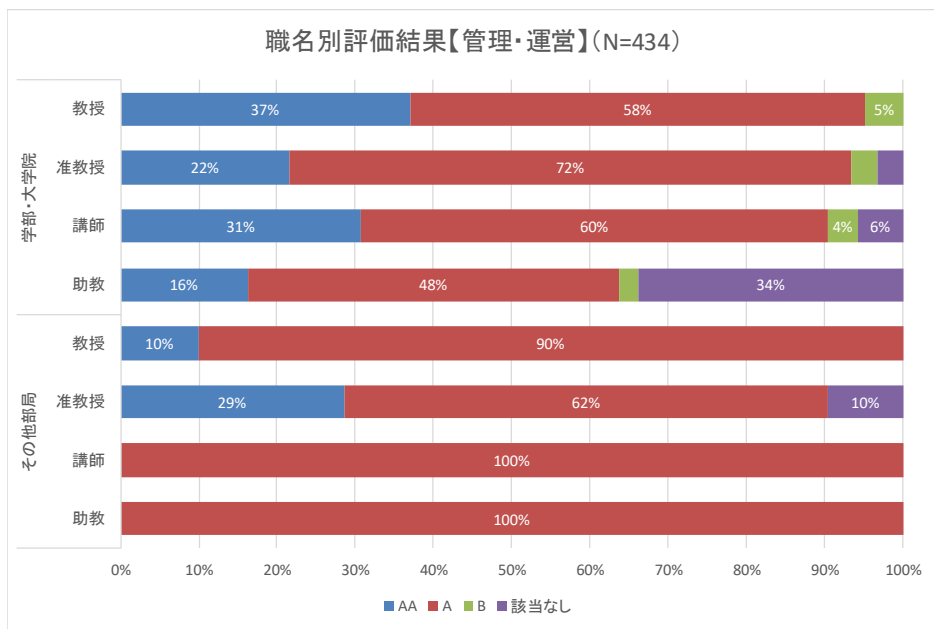
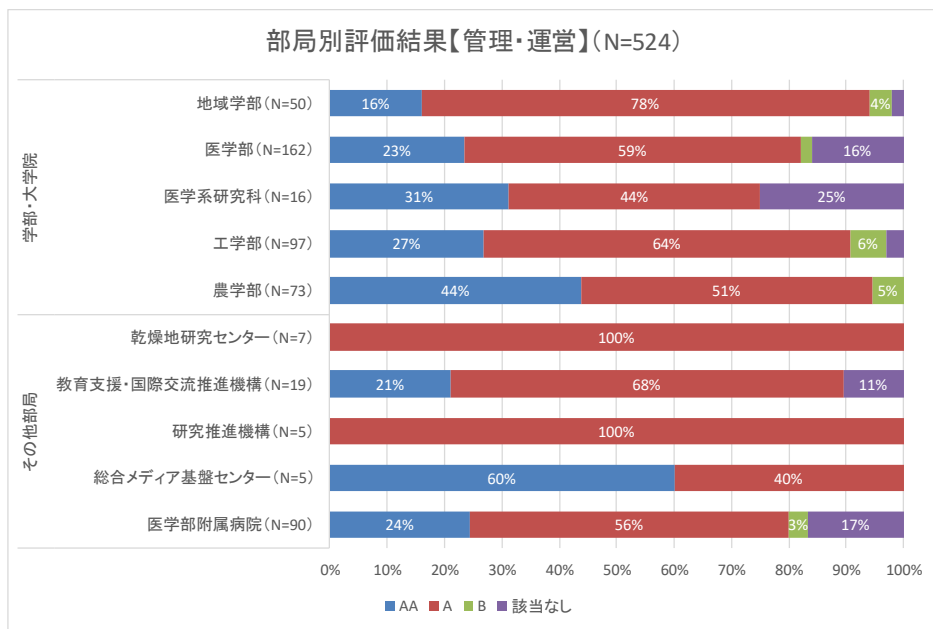
2018 年度において、評価者が判定した評価結果を部局別及び職名別に示す。

ただし、職名別評価結果の【教育】【研究】【社会貢献・国際交流】【管理・運営】については医学部附属病院を除く。

- ※ 【教育】 農学部ではAAが 63%を占めている。
- ※ 【研究】 医学系研究科、農学部及び乾燥地研究センターではAAが 50%以上を占めており、研究推進機構ではBが 40%を占めている。学部・大学院において、職位が下がるにつれてAAが減少するとともにBが増加する傾向にある。また、教授において、学部・大学院ではAAが 42%となっているのに対し、その他部局ではAAが 20%と半分程度になっている。さらに、他の領域に比べて、研究ではBの割合が多い傾向にある。
- ※ 【社会貢献・国際交流】 医学系研究科、工学部、農学部及び総合メディア基盤センターではAAが 40%以上を占めている。学部・大学院において、助教では該当無しが 15%と少し高い傾向にある。その他部局において、教授ではAAが 0%、講師では 100%となっている。
- ※ 【管理・運営】 農学部及び総合メディア基盤センターではAAが 40%以上を占めており、医学系研究科では該当無しが 25%を占めている。学部・大学院において、助教では該当無しが 34%と高い傾向にあり、その他部局において、教授はAAが 10%、講師及び助教が 0%と低い傾向にある。
- ※ 【診療】 医学部附属病院ではAAが 43%を占めている。その他部局において、講師及び助教のAA及びAの割合が 90%以上を占めている。







※評価結果の割合は、小数点以下第1位を四捨五入して表示。